

章	6	構想の推進のために
大項目	05	行財政の効率的運営
施策	01	行財政の効率的運営

目的

総合的で弾力的な執行体制の確立 効率的な区政運営の確立
 施策の優先順位等を踏まえた行財政運営の推進 施設の有効活用と再編整備
 財源確保の強化 区職員の資質向上

対象・手段

対象:行政
 手段:ITの活用、新しい行政管理手法の開発、効率的な内部管理システムの活用等

施策の方向

高度情報化への対応として、住民サービスの向上と簡素で効率的な行政運営の実現を目指した電子区役所の推進を図ります。

効率的な区政運営の確立として、迅速かつ確に対応できる行政の意思決定システムを構築するとともに、職員の意識改革により行政の体質改善を図ります。区有施設を効率的・効果的に活用して、新たな需要への対応と、施設維持管理経費の抑制の両立を図ります。公金の納付環境整備としてコンビニ収納を導入することにより、納付者の利便性の向上を図るとともに、財源確保を強化します。

基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況

指標名の定義:
 施策実現に関する指標は設定していません。

成果指標

指標名		定義	目標水準			
電子申請	手続き数		(平成19年度に30手続き)			年度にの水準達成
コンビニ収納利用割合	コンビニ収納を活用している税目等の納付書による収納件数に占めるコンビニ収納の割合		(平成19年度に40%)			年度にの水準達成
保全支援システムへの建物基礎データの集積・中長期修繕計画の策定	区有施設のうち計画保全対象施設の現況調査等を行い、データを集積し中長期修繕計画を策定した施設数		(平成19年度に100%)			年度にの水準達成
施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	手続き	30.00	30.00	30.00	<18年度> 4月より軽自動車税、6月より国民健康保険料、10月より介護保険料 <19年度> 4月より個人住民税普通徴収分、個人住民税のコンビニ収納の対象は、納付書1枚の額が30万円以下
	実績1	手続き	13.00	21.00	48.00	
	目標達成率1 = /	%	43.33	70.00	160.00	
	目標値2	%	0.00	40.00	40.00	
	実績2	%	0.00	25.65	31.87	
	目標達成率2 = /	%	0.00	64.13	79.68	
	目標値3	建物	144.00	144.00	144.00	
	実績3	建物	105.00	144.00	144.00	
	目標達成率3 = /	%	72.92	100.00	100.00	

主な取組み

- 高度情報化への対応
- 申請手続きの電子化、情報セキュリティ外部監査の導入
- 効率的な区政運営の確立
- 行政評価に外部評価の仕組みを導入、コンビニ収納の導入、コールセンターの開設、区公共施設の保全計画の推進

課題

高度情報化への対応として、情報セキュリティ外部監査のノウハウを利用した内部監査の拡大・充実が必要です。また、IT(情報技術)を効果的に活用することで、行政サービスの一層の向上に努める必要があります。

効率的な区政運営の確立として、区民の行政評価に対する参加の機会を確保し、より一層行政評価の客観性・透明性を高めていくとともに、総合計画・実行計画の適切な進行管理を図る必要があります。

新たな課題に対応するために区職員の資質向上・意識改革が求められています。

評価

総合評価	
<p>総合評価をBとした理由は、行財政の効率的運営がおおむね予定どおり達成されたからです。</p> <p>高度情報化への対応として、申請手続きの電子化や情報セキュリティ外部監査を予定どおり実施し、電子自治体における効率性の向上と信頼の確保に努めました。</p> <p>効率的な区政運営の確立として、行政評価に外部評価の仕組みを導入し、行政運営の意思決定サイクルの客観性・透明性を高めました。また、施設のあり方の見直しの考え方をまとめて各施設の活用を始めるとともに、計画的な保全計画である中長期修繕計画を策定し、新たな需要への対応と施設維持管理経費の抑制の両立を図りました。さらに、区職員の資質向上のために「新宿区人材育成基本方針」を策定しました。</p> <p>サービスの負担と荷い手</p> <p>この施策は、行政自らが効率的な運営に不断の努力を行うべきものであるため、行政が担うものです。</p> <p>適切な目標設定</p> <p>3年間の施策の取組みとして、効率的に区政運営し区民サービスを向上させる視点で目標を設定しているため、適切です。</p> <p>効果的・効率的な視点</p> <p>行財政のより効果的・効率的運営を図るとともに、その透明性・客観性を高めるため、外部評価の仕組みを導入して、予算との運動を深めました。</p> <p>目的の達成度</p> <p>予定どおり進めることができましたが、全体としてはまだ改善の余地があると認められるため、今後も引き続き行財政の効率的運営に努める必要があります。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

この施策は、新宿区総合計画の区政運営編「好感度一番の区役所の実現」「公共サービスのあり方の見直し」に引き継ぎます。

高度情報化への対応については、IT活用による利便性と効率性の向上を図ります。具体的には、総合計画をITの側面から支える個別計画として平成20年3月に策定した「新宿区情報化戦略計画」に基づき、取り組んでいきます。

効率的な区政運営の確立については、総合計画・実行計画の適切な進行管理を行い、施策の優先順位等を踏まえて、区民に成果の見える区政運営をめざしていきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
電子区役所の推進	B	290		
行政評価制度	B	292		
コンビニ収納業務委託	A	294		
コールセンターの開設準備	B	296		
区公共施設の保全計画の推進	B	298		